

記者会見資料

平成 29 年度当初予算の概要について

平成 29 年度は、国・県と連動した「小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の 3 年目、「第 7 次小山市総合計画」の 2 年目の年として、地方創生の更なる深化のため、第 1 に、圏央道開通を見据えた新規工業団地の開発・企業誘致と若者の「雇用の確保」、第 2 に、関東・東北豪雨を踏まえた国営かんがい排水事業「栃木南部地区」の事業促進、豊徳川・杣井木川の排水強化対策による「安全安心な小山市」の創造、第 3 に、保育園の増設・保育料助成等子育ての推進や老人クラブ育成・介護支援等を一層充実させ、平成 25 年の「高齢化対応日本一」に続き、「子育て支援日本一」を目指し、第 4 に、小山市の「宝」である「渡良瀬遊水地」、「本場結城紬」、「小山評定」等の地域資源に磨きをかけた観光地化の推進による交流人口の増大、第 5 に、下野市・野木町・結城市との「小山地区定住自立圏形成協定」を大切に育て推進し将来は「50 万中核都市」の実現、を目指すこととし、立地利便性を活かした「小山東部第二工業団地」、「テクノパーク小山南部」の新規工業団地開発推進、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでを包括的に支援する「子育て包括支援システム」の構築、高齢者の住まい・生活支援・予防・介護・医療を包括的に支援する「地域包括ケアシステム」の構築、国体開催と栃木ゴールデンブレースの B C リーグ参戦に伴う小山運動公園野球場整備等によるスポーツ立市小山の推進、県内初となる「絹義務教育学校」の開校、「城南地区新設小学校」を着工するほか、「小山ブランド」の創生、「開運のまちおやま」の全国発信、行財政改革に取り組んでまいります。

これらの実現のため、市税等自主財源の確保を図るとともに、全職員が一丸となって、歳入に見合った歳出構造改革に取り組み、企業の経営感覚に立ち、常にコスト意識を持って経費全般にわたる徹底した節減合理化に努めてまいります。

以上を踏まえ、平成 29 年度の予算編成は「小山を創る第二章」として、小山市の将来にわたる持続的な発展を堅持し「夢」未来溢れる小山市創造のため、下記のとおり編成いたしました。

その主な事業としては、

1. 市民生活の安全・安心、福祉対策、健康づくり、医療、教育の推進（4,399 百万円）

①市民の生命・財産を守り、地域の安全・安心な暮らしのために（1,248 百万円）

「①国営かんがい排水事業栃木南部地区」、「②排水強化対策[③調節池整備計画・排水機場設計(豊徳川)、④河川監視カメラ設置・輪中堤調査設計(杣井木川)、⑤洪水ハザードマップ改訂(小山東部地区)]」、「⑥総合防災訓練」、「⑦AED コンビニ設置」、「⑧一般市道改良・道路補修等」、「⑨横倉第一雨水幹線整備」

②高齢者・障がい者がいきいきと生活できる福祉対策等社会保障の充実のために（1,818 百万円）

「⑩地域包括ケアシステム構築（生活支援サービス基盤整備、⑪オールエイジファミリーサポート、⑫社会福祉施設整備、特別養護老人ホーム整備、認知症高齢者グループホーム整備、⑬定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所整備等）」、「⑭すこやか長寿プラン策定」、「⑮障がい福祉計画策定」、「⑯障がい者介護給付」、「生活困窮者自立支援」

③健康づくり・医療・保健・スポーツ・教育の充実のために（1,333 百万円）

「健康マイレージ」、「⑰医療用ウィッグ購入費助成」、「⑱旧小山市市民病院跡地活用（旧市民病院病棟一部解体）」、「⑲特定健診」、「⑳女性がん検診」、「㉑スポーツ立市推進」、「㉒小山運動公園野球場整備」、「P F I アドバイザリー『市立体育館整備』」、「㉓絹義務教育学校開校（スクールバス運行）」、「㉔おやま英語教育のまち推進（㉕小・中学校 A L T 配置）」

2. まち・ひと・しごと創生総合戦略、地方創生の推進（4,865 百万円）

①産業の振興による新たな雇用の創出のために（855 百万円）

「工業振興奨励拡大」、「企業立地雇用促進奨励」、「㉖本場結城紬（㉗生産振興・後継者育成）」、「㉘担い手・農地総合対策」、「日本型直接支払制度」、「第 6 次産業化農業振興」、「㉙おやま和牛生産振興」、「㉚高収益農業生産拡大」、「ロブレ再生支援」、「㉛おやまブランド企画・普及・全国発信（㉜桑の実プロジェクト）」

②新しい人の流れの創出のために（267 百万円）

「㉝渡良瀬遊水地観光地化推進（振興 5 ヶ年計画の推進 [エコミュージアム化、環境にやさしい農業推進、コウノトリ・トキの野生復帰、観光誘客推進、㉞第 2 調節池湿地保全推進、㉟登録 5 周年記念、おもてなし

施設整備(渡良瀬遊水地体験交流施設(基本・実施設計))、㊦旧思川水辺公園整備]」、「本場結城紬プロモーション」、「㊦グリーンツーリズム推進」、「㊦シティプロモーション推進(㊦移住・定住促進広域連携プロモーション)」、「㊦地域おこし協力隊推進」、「㊦2020 東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた小山市3ヶ年計画策定」、「㊦道路緑化推進計画策定」、「㊦転入勤労者等住宅取得支援」、「㊦移住・定住促進(新幹線通勤定期券購入費補助)」、「㊦高齢者移住促進(CCRC)」、「㊦空家等利活用推進」

③結婚・出産・子育ての希望の実現のために(3,681 百万円)

「㊦子育て包括支援システム構築[結婚活動応援(㊦結婚新生活支援)、㊦母子保健コーディネーター配置、㊦子育て包括支援総合相談、妊産婦健診費助成、不妊・不育症治療費助成、こども医療費助成、認定こども園等施設型給付(㊦乙女、㊦梅ヶ原、㊦みのり)、認定こども園等一時預かり(㊦乙女、㊦梅ヶ原、㊦みのり)、民間保育所入所委託(㊦(仮)東城南保育園)、保育所等施設整備(㊦(仮)城東保育園、㊦早蕨幼稚園、㊦乙女幼稚園)、保育士等就業奨励金交付、㊦保育士再就職支度金給付、キッズランドおやま運営]」、「㊦こどもの貧困対策[㊦学習支援(㊦絹公民館)等]」、「㊦学童保育館施設整備[㊦城南地区新設小(設計)」、「PFIアドバイザリー『こどもの国整備(余熱利用施設)』」、「㊦小山総合公園水上アスレチック整備」

④持続可能な地域づくりのために(62 百万円)

「公共施設等マネジメント推進計画策定(完成)」、「㊦自主防災組織育成」、「㊦地域防災強化(防災備蓄物資整備、㊦水防資機材整備)」、「㊦大谷地区中心施設整備(㊦基本設計策定)」、「小山地区定住自立圏構想推進」、「㊦各機関連携協定推進」

3. 社会資本整備を中心とした景気・地域経済の再生の推進(3,616 百万円 ※)

①産業・都市・教育基盤整備による「人と企業を呼び込む施策」推進のために(3,449 百万円 ※)

「㊦新規工業団地開発推進[㊦小山東部第二工業団地着工、㊦テクノパーク小山南部(用地取得)]」、「㊦農業基盤整備促進」、「3・4・7 小山野木線[栗宮工区開通]」、「3・4・101 城東線道路改良」、「㊦小山駅西口周辺地区街なか居住推進[㊦城山町二丁目第一地区(既存建物解体)、㊦城山町三丁目第二地区(事業推進計画作成)]」、「栗宮・緑の健康づくりの森地区都市再生整備」、「㊦城南地区新設小学校建設着工」、「㊦豊田中学区新設小学校整備(用地取得)」 ※ 一部特別会計予算を含みます。

②地域住民の利便性向上のために(167 百万円)

「コミュニティバス運営」、「社会保障・税番号制度システム整備」、「コンビニ収納」、「クレジット収納」、「証明書コンビニ交付」

4. 平成 29 年度その他の目玉事業(1,687 百万円)

①くらしやすく安全安心な市民パートナーシップによるまちづくりの推進(504 百万円)

1) 地域・学校の安全安心として(75 百万円)

市民生活安全安心推進[交通安全施設整備、安全安心情報配信、防犯パトロール、防犯カメラ(小山駅周辺、間々田駅周辺、思川駅周辺)、防犯カメラ設置費補助金、LED型地域防犯灯設置事業、スクールガードリーダー、児童生徒防犯ブザー、小・中学校緊急通報システム整備]、公園施設長寿命化対策

2) 地域防災強化事業として(188 百万円)

排水対策(武井、南半田、南城南、㊦城北地区他)、㊦消防車両整備[㊦分団消防ポンプ自動車更新]、㊦消防施設整備[防火水槽新設(寒川・延島・下河原田)]、㊦自主防災組織育成(㊦南半田、㊦延島地区)、防災協定交流、㊦総合防災訓練、木造住宅耐震対策助成、㊦市営住宅長寿命化推進

3) くらしやすい市民生活の向上として(156 百万円)

狭あい道路整備(4695号・4696号・2414号・3132号線、喜沢・もみじ山地区)、エコシティおやま推進(クールシェア・ウォームシェア推進)、騒音振動悪臭防止、狂犬病予防(飼い犬等避妊手術補助)

4) 市民パートナーシップの推進として(36 百万円)

わがまちげんき発掘、グラウンドワーク活動推進、地区まちづくり推進、里親づくり(桜、道路、緑とあかり)、ボランティア活動推進、㊦選挙啓発(㊦高校生選挙啓発授業)、国際交流

5) 新しい小山ブランドの創生として (49 百万円)

小山評定ふるさと応援、地産地消・食育推進、㊦歴史のまちづくり (㊦小ロ一郎関係資料悉皆調査業務委託)、ハンドベルによるまちづくり

②産業・都市・教育・医療基盤の整備及び子育て支援・高齢者・障がい者福祉・社会保障・保健・スポーツ・健康づくり・医療対策の充実による「人と企業を呼び込む施策」(885 百万円)

1) 企業誘致の促進と中小企業の支援として (10 百万円)

- i 企業誘致の促進 新 4 号国道沿線新規工業団地推進
- ii 中小企業の支援 ㊦中小企業支援(ISO 認証取得、㊦工業所有権取得、研究開発)、自社製品販路拡大支援

2) 道路環境整備の促進として (343 百万円)

㊦道路新設・改良(新市民病院周辺道路、小山外環状線道路整備推進、寒川・間中アクセス道路整備調査、網戸・迫間田アクセス道路整備、小山下野線西通り整備調査、渡良瀬遊水地周辺地区道路整備、豊田緑地アクセス道路整備、市道 7 号・34 号・201 号・240 号・262 号・263 号・3174 号線)、㊦橋梁長寿命化修繕(㊦小宅橋)、㊦新田橋新設

3) 教育の推進と教育環境整備として (532 百万円)

- i 教育の充実 複式学級解消のための教員採用、大学生によるスクールサポート、特別支援教育サポーター配置、社会人 T・T 配置、学校文化芸術体験、本場結城紬・渡良瀬遊水地体験学習支援
- ii 教育環境整備 ㊦地域とともにある学校づくり推進[学校運営協議会設置校：㊦小山城東小、㊦大谷北小、㊦絹義務教育学校] 学校運営協議会研究校(㊦小山城南小、㊦羽川小、㊦羽川西小)、㊦田んぼの学校づくり(㊦萱橋小)、食育推進(ラムサールふゆみずたんぼ米、ホンモロコ、はとむぎ茶、㊦ラムサールナマズ)、㊦校内無線 LAN モデル校整備、小・中学校トイレ改修、小・中学校備品等の拡充(㊦小学 3 年生用机・椅子更新、備品消耗品充実)

③行財政構造改革の推進として (298 百万円)

第 6 次行政改革推進、基幹系業務システム、PFI アドバイザリー業務委託(市立体育館、こどもの国)(再掲)、㊦指定管理者制度の活用[㊦大谷東小第三学童、㊦生涯学習センター(おやま未来開運塾)]、㊦情報セキュリティ強化、㊦収納率の向上対策強化(㊦滞納整理推進、コンビニ収納、クレジット収納、マルチペイメントネットワーク収納、㊦自動電話催告システム業務委託、㊦現地調査業務委託)

この結果、平成 29 年度小山市一般会計の予算総額は、 608 億 5 千万円 (前年度比 0.2%増) となったところです。

(参考)		主な経費の比較				(単位:百万円、%)		
性質別	平成29年度		平成28年度		対前年度比			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	構成比	
義務的経費	26,603	43.7%	26,491	43.6%	112	0.4	0.1	
人件費	9,148	15.0%	9,170	15.1%	△ 22	△ 0.2	△ 0.1	
扶助費(社会保障費)	11,496	18.9%	11,312	18.6%	184	1.6	0.3	
公債費	5,959	9.8%	6,009	9.9%	△ 50	△ 0.8	△ 0.1	
投資的経費	9,083	14.9%	8,871	14.6%	212	2.4	0.3	